

特集 Special Topics

浸水被害からまちを支える下水道を目指して 雨水管整備事業を行っています

市では、平成21年度に策定した「清瀬市下水道プラン2009」に基づき、平成25年度から4年計画 整備期間は5年間で「柳瀬川右岸5号雨水幹線」の整備を行っています。この事業は、市内を21の区域に分けたうちの1つ「柳瀬川右岸第8-1排水区（台田団地中央あたり〜グリーンタウン清戸）」に、公共下水道として初めて、道路冠水や浸水を防ぐための雨水管の整備を行うものです。今回は、これまでの雨水管整備事業の進捗状況と、今後行う整備事業について紹介します。

雨水管整備事業とは？

清瀬市公共下水道の歩み 現在のように、公共下水道（汚水管）が整備される前までは、道路に降った雨水や、台風や風呂など家庭から出る生活排水は、市内の全域に埋設されている生活排水管を通して、空堀川や柳瀬川に直接流れ出ていました。そのころの川は洗剤などの泡が立ち、臭いもひどく、魚などの生物が住める状態ではありませんでした。その後、昭和51年度から、公共下水道（汚水管）の整備事業が始まり、生活排水はトイレのし尿を含めて公共下水道（汚水管）に流すようになり、下宿地域にある清瀬水再生センターで、きれいな水に浄化されてから、柳瀬川に放流される仕組みが出来上がりました。

雨水管整備の必要性

生活排水が流れなくなった生活排水管には、道路に降った雨水だけが流れるようになり、現在は路面排水管として雨水を空堀川や柳瀬川に流しています。その一方で、林や農地だった場所の多くが宅地などに変わり、道路部分がアスファルトで覆われてしまったことで、降った雨が地面にしみ込みにくくなり、台風やゲリラ豪雨など、一時的に大量の雨が降る際は雨水が道路上に流れ出し、道路冠水や浸水を招くという状況になっています。



道路や家が水浸しになってしまいます



対策後 降った雨は、雨水として下水道管に入り川などに流されます

雨水管整備事業

このような状況から、市では

雨水幹線整備の概要 平成25年度から29年度まで

5か年整備のうち、まずは、平成25・26年度の2年で、台田団地ほぼ中央部の柳瀬川を起点に中里六丁目と下宿一丁目との境界に位置する道路（伊藤記念公園台田の杜、東側道路）に沿って柳瀬川通りとの交差点まで延長約380mの区間に、直径2.0mの雨水管を、既に道路内に埋設されている水道管やガス管等の地中管を避けながら、最大で地下約13mの位置に敷設しました。



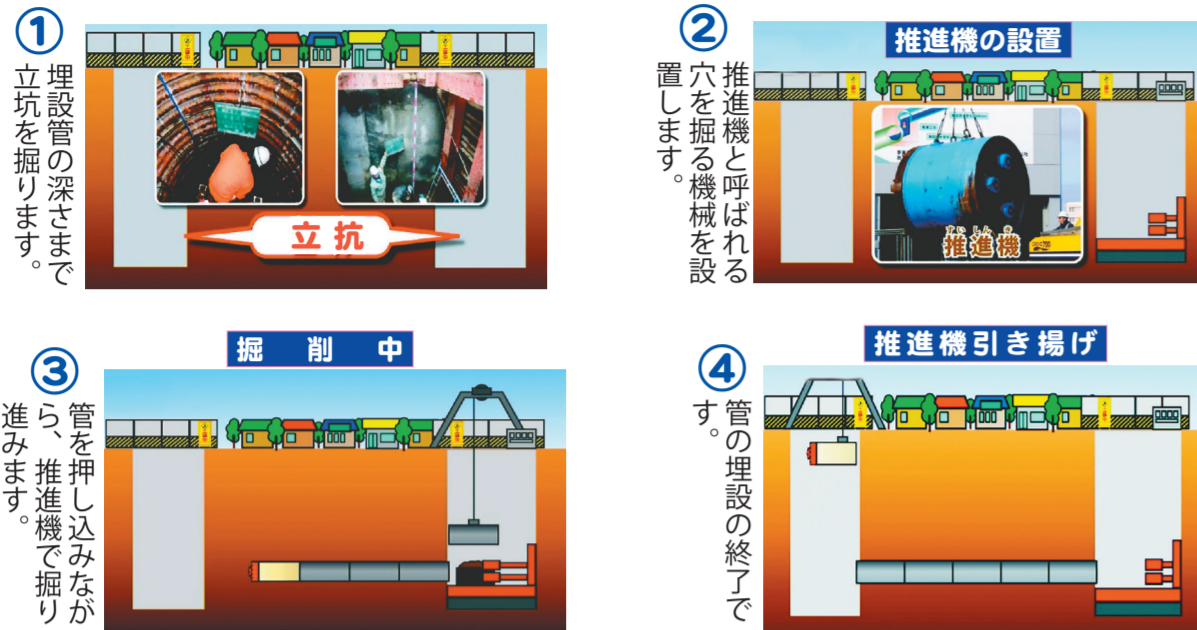
整備事業の様子



の延長約490mの区間に、直径2.0mの雨水管を敷設する計画です。また、平成27年度に道路の下に障害物がないか調査を行った結果、障害物がないことが判明し、安全に雨水管の敷設が行えることが分かりました。平成28・29年度の整備部分については、特殊な孔（マンホール）の築造を1か所行っているところです。そして、今年の秋ごろには直径2.0mの雨水管を敷設する工事を行うこととして、ご理解と協力をお願いします。

雨水幹線の敷設工法は推進工法

★立坑と呼ばれる縦穴からジャッキを使って横方向へ下水道管を押し込んでいく方法で作業します。



推進工法（左記参照）は、道路を全線にわたって開削しないため、騒音や振動などの建設公害が少なく、歩行者や車両の通行止めの期間も最小限に抑えられ、周辺への影響の少ない工法です。また、既存管を使用するため施工後直ちに使用することができ、工期短縮が図られ、工事に掛かる費用は他の工法に比べ割安となる見込みです。それでも、平成27年度～29年度の3年での事業費は約11億4,800万円（国庫補助・東京都補助金を含む）で、時間も膨大にかかる事業となっています。

雨水浸透ます設置費用を助成します

地下水の保全のため、宅地内に降った雨は宅地内で浸透するようにご協力をお願いいたします。なお、雨どいからの雨水について浸透施設のない市内の個人住宅（新築の場合を除く）においては、雨水浸透ます設置助成を行っています。下表清瀬市指定下水道工事店までお問い合わせください。

清瀬市指定下水道工事店（市内業者）一覧表

Table with 4 columns: 工事店名, 住所, 電話 (042), and 住所. Lists various construction companies and their contact information.

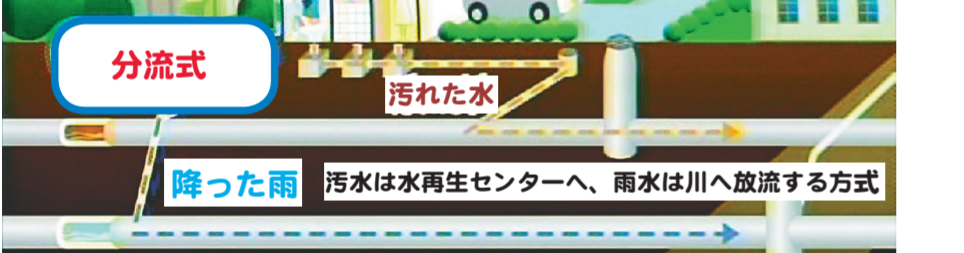
雨水浸透ますって、どんなもの？

内径約30cm・高さ50cmのコンクリート製で、雨水を地中に浸透しやすくするために穴がたくさんあいています。貯まった雨水は、徐々に地中に浸透していきます。雨水浸透ますを1基つけると1時間に294%（お風呂の水の約1.5倍）の水を浸透させることができます。

雨水管整備事業 Q&A

下水道イメージキャラクターのヨウちゃんやタマちゃんが、よくある疑問にお答えします。

下水道って、雨水もトイレの水も一緒に流しているんじゃないの？ 下水道には、下図のように合流式と分流式の2種類あるんだよ。東京23区内などは、合流式で生活排水と雨水を同じ管に流して浄化処理してから川に流しているよ。清瀬市や近隣市は、分流式で生活排水と雨水は別々の管で流しているよ。



★分流式…下水道が2つのため、経費が掛かるが、ゲリラ豪雨などが発生してもあふれる可能性が低く、安全に川に流すことができる。



★合流式…下水道が1つのため、経費が安くなるが、ゲリラ豪雨などできれいな水に処理される前にあふれる可能性がある。

ゲリラ豪雨など雨水が道路にあふれないようにするにはどうしたらいいの？ 今よりもたくさんの雨水を流せるように道路に新しい雨水管を整備する必要があるんだよ。そのため、市では平成25年度から雨水管の工事を行っているよ。新しい雨水管が整備されて雨がたくさん降っても道路に雨水があふれなくなるといいね！

Advertisement for 清瀬リハビリテーション病院 (Seino Rehabilitation Hospital) and 上宮園 (Uemiyu-en) nursing home, including contact information and services.

Advertisement for 松崎正一税理士事務所 (Matsuzaki Seiichi Tax Accountant Office), offering tax consultation and services.

Advertisement for 新築そっくりさんリフォーム相談会 (New Construction Sockuri-san Renovation Consultation Meeting), featuring a free consultation and renovation services.